

藪内 潤一 Yabuuchi Jyunichi

2022年4月 入学

医療科学研究科

病態運動学分野 内部障害

市立福知山市民病院

リハビリテーション科 勤務

理学療法士



幅広い知識と根拠に基づいた知見で、臨床現場で活躍したい

臨床現場で患者さんに向き合う中で、経験則だけでなく、幅広い知識の必要性を感じていたおり、職業実践力育成プログラム(BP)を受講し、久しぶりに教育現場で学ぶ楽しさを体感しました。そこでお世話になった先生から「学ぶことに年齢は関係ないので、よかったらより専門的に学び直してみませんか?」とお声がけいただき、大学院進学を決意しました。

ゼミは平日夜にオンラインで実施されることが多く、遠方から通学する私でも無理なく学びやすいと感じています。

大学院では、海外の文献検索の重要性や、文献の信頼度など、調べる能力が上がり、臨床でも多角的に患者さんへ助言が行えるようになったと実感しています。将来的には臨床現場でも研究することが楽しいと感じてもらえるような情報発信ができればと考えています。

1週間のスケジュール

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日	家事 育児		病院勤務(通勤含)											ゼミ(オンライン)	自宅学習	睡眠			
火曜日	家事 育児		病院勤務(通勤含)											家事・育児	自宅学習	睡眠			
水曜日	家事 育児		病院勤務(通勤含)											家事・育児	講義 オンデマンド	睡眠			
木曜日	家事 育児		病院勤務(通勤含)											家事・育児	自宅学習	睡眠			
金曜日	家事 育児		病院勤務(通勤含)											家事・育児	自宅学習	睡眠			
土曜日		通学(バス)		講義								通学(バス)	家事・育児	睡眠					
日曜日		通学(バス)		講義								通学(バス)	家事・育児	睡眠					

コメント:

『育児・仕事・勉学』この3つをバランスよくこなすには、家族の協力はもちろんのこと、職場の理解や協力も大切です。上司に相談して勤務日の調整や研究に適した職場配置や役割など、学びやすい環境を早くから整えていくことも重要だと感じます。

小寺 千明 Kotera Chiaki

2021年4月 入学

医療科学研究科

人間活動科学分野 精神活動

兵庫県立西宮病院

リハビリテーション部 勤務

作業療法士



理想の患者支援を目指して、大学院で知識を深める

職場では、運動器疾患・脳血管疾患・がん患者を中心に担当し、緩和ケアと排尿ケアの院内チーム会にも所属しています。患者さんが大切にしている生活行為や価値観を尊重した支援ができるよう目指しています。人間作業モデルについて学びを深めるため、こちらの大学院を選びました。2019年度に職業実践力育成プログラム（BP）で学び、とても充実した時間が過ごせたことも決め手になりました。BPで取得した単位の一部は既修得単位として認められ、入学後は働きながらも研究に余裕を持って取り組んでいます。

大学院に進学したことで、英語論文を読む習慣や、論文を批判的に読む技術を習得することができ、臨床上で困った際に解決する手段として役立っています。

研究では、職場の先輩や上司に相談してアドバイスを得ながら、時には他職種の方と連携してデータ収集を行っています。

1週間のスケジュール

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		
月曜日				病院勤務									研究							睡眠	
火曜日				病院勤務											自宅学習						睡眠
水曜日				病院勤務									研究								睡眠
木曜日				病院勤務											自宅学習						睡眠
金曜日				病院勤務									研究								
土曜日					講義			ゼミ			自宅学習									睡眠	
日曜日				自宅学習						研究				自宅学習						睡眠	

コメント：

平日はフルタイムで勤務しているので平日の夜や週末に勉強時間を確保できるよう工夫しています。仕事と勉強の両立は大変なこともあります。充実しており楽しみながら過ごせています。